

重度心身障害者福祉タクシーの利用料金を助成します

在宅の重度心身障害者の日常生活の利便を図るため、タクシー利用料金の一部を助成する制度を設けています。

対象●町内に住所のある人で、次のいずれかに該当する人

- ①身体障害者手帳1級又は2級
- ②療育手帳A又はA
- ③精神障害者保健福祉手帳1級

助成額●初乗り料金が無料になる利用券(年間24枚)を交付します。利用券による助成額は、1枚につきタクシー初乗運賃相当額です。利用券は、1回の乗車につき1枚のみ使用できます。

その他●タクシーを利用するときは、運転者に利用券といずれかの障害者手帳を提示してください。

申請方法●印鑑、障害者手帳をお持ちのうえ、福祉課に申請してください。

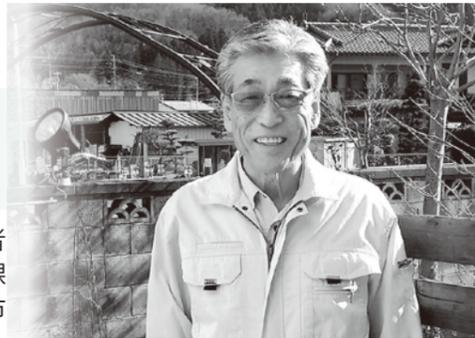
※心身障害者自動車等燃料費給付又は難病患者通院交通費補助を受けている場合は対象となりません。

問合せ●保健福祉センター・福祉課 ☎75-4109



第6回 移住相談員・本協力隊員の移住者インタビュー

私が住んでいる地区・腰ノ根の守屋区長へのインタビューです。移住者を受け入れる立場として、移住者の顔もすぐに覚え、区費・加入費などの課題に対し迅速に対応される守屋さんですが、実はご自身も37年前に横浜市からUターンした経験があるそうです。



守屋清治さん

「ご出身の両神小森から横浜に出た経緯を教えてください。」

「高校卒業後、技術を身につけたいと思い電気学校に入学しました。昼間は学び、夜間は横浜の電気屋さんで働きました。そのオーナーから教わった『一丁前の技術を磨くことで人に信頼していただく』気持ちは今でも大切にしています。自分の店を持つと考えると、腰ノ根地区に土地を見つけて戻ってきました。両神出身で町内に起業している方は多いですよ。」

「移住された頃は、腰ノ根はどんな地区でしたか。」

「当時は、昔ながらのやり方に新しい人が合わせていたように思います。ただ、一時期、祭りを継承するために、そのやり方を見直さなければならなかった事がありました。未来のために過去のしがらみに終止符を打った、そんな経験を乗り越えています。今では、面白いからまずやってみよう、という文化が育ってきているようです。」



「私も大好きな『収穫祭』もそんな文化の一つでしょうか。」

「あれは、私が大きな鍋をもらったことから始まりました。腰ノ

腰ノ根の収穫祭の芋煮

根の良い所は、物事をやろうと言ったら、シニアクラブも青年部も消防団も、各団体が協力してくれる所です。しかも、お金をあまりかけずに盛り上げられる。祭りなどを通して、人と人が繋がっていける地域だと思っています。行事を担う若い人が少ない時期もありましたが、ここ4~5年は若い人も増えています。基本的な文化伝統は継承しつつ、地域の魅力は変化しています。」

「素敵ですね。これから移住してくる方への期待はありますか。」

「定住いただくためにも、何か事業を起こしてくれるといいですね。海外の方も歓迎です。自分の文化を住民に教えてもらうのも楽しいんじゃないかな。各地域が良くなれば、町全体も良くなるはずですよ。」

小鹿野町のように地域ごとに多様な特徴を持つ町では、住民の暮らしは、各地域を運営する方々の想いや工夫に支えられているのだと感じました。腰ノ根以外でも、伝統を守りつつ新たな文化を創っている地区はきっとあることでしょう。移住担当としても、地域ごとのそんな魅力を積極的に伝えていきたいです。

地域おこし協力隊 本奈代子

問合せ●おがの移住相談窓口 ☎75-1238 (小鹿野庁舎・総合政策課内)

地域おこし企業人

石塚からのひとこと

秩父氷柱めぐり三景ツアーおもてなし度はナンバーワン

弊社(株)近畿日本ツーリスト首都圏のグループ会社でありますクラブツーリズム(株)主催の尾ノ内氷柱へのツアーが、1月11日から2月23日の期間、実施されました。参加のお客様は私の想定を大幅に超える1,960名様でした。発着地ごとの人数内訳は、東京1,290名、埼玉385名、神奈川215名、千葉70名と、神奈川だけで実施していた昨年からすると大幅増となりました。数がすべてではありませんが、多くの方々に町にお越しいただくのは、嬉しいものです。

ツアー参加者のアンケート(3月4日時点での約900名様分のデータ)によりますと、ツアー全般の満足率となりますが、84.7%とかなり高率でした。

尾ノ内氷柱実行委員会、河原沢よつがっせー委員会、尾ノ内作業部隊、レディース部隊、ちよこつともてなし隊、西秩父商工会の皆様方、さらに竹あかりで夜のイベントを盛り上げてくださった小鹿野高校の生徒の皆様、そしてその指導にご尽力いただきました元地域おこし協力隊の仁位様に深く感謝申し上げます。

このツアー名は「秩父氷柱めぐり三景」といい、尾ノ内氷柱のほか、あしがくぼの氷柱、三十槌の氷柱と3カ所をめぐるツアーです。氷柱のほかに、他の見学地を組み入れたツアーに比べ、圧倒的な人気だったようです。ダリア園を含む他地域の花めぐりツアー同



様、秩父広域を交えた魅力あるコースを企画していくことが今後も必要と感じました。

私も尾ノ内は氷柱期間中に幾度か訪れたほか、あしがくぼの氷柱、三十槌の氷柱も見学しました。ひいき目ではなく、尾ノ内のおもてなし度がナンバーワンという思いを強くしました。

地元の方々がおもてなしで、観光素材に更なるみがかきかける、「良い観光地づくりは良い町づくり」「訪れてよし、住んでよし」ということを改めて感じさせられました。

そう考えると、期間限定のイベントのみの誘客で終わらせることなく、年間通しての誘客活動を継続して行く必要があります。このことにつきましては、また別の機会に述べさせていただきたいと思っております。

地域おこし企業人 石塚 浩哉



小鹿野用水の取水時間を守りましょう

小鹿野用水地区では、まもなく田植えの時期を迎えます。取水時間を守り、大切な用水を無駄なく、効率よく利用しましょう。

■上流地区(上飯田地区～鳳林寺サイホン入口)

取水時間●偶数日の正午から翌朝の6時まで

■下流地区(鳳林寺サイホン入口～奈倉)

取水時間●奇数日の朝6時から翌日の正午まで

※下流地区では、流量が少なく困っています。取水の際は、田から水があふれ出したり、掛け流しにならないように注意してください。



刈り払った草を流さないでください

用水路沿いで刈り払った草や木の枝が用水路に詰まってトラブルが発生しています。

- 刈払機の刃先を用水路から外側に向かって動かす。又は用水路と平行に動かす。
- 水際の草を少し残し、刈草は水際から離して置く。

刈草が用水路に落ちないように、ちょっとした工夫を!

問合せ●両神庁舎・産業振興課 ☎79-1101